



★早朝のチャンスタイムに3点掛けを決めた丸山さん。アタリがきたらしばし待ち、追い食いさせてから巻き上げる

▲後半は三戸浜沖の水
深250~300メートル
を流した
▶「朝方はサバに邪魔
されやすいので、ハリ
数は5本に抑えたほう
がよいですよ」とは仲
乗りの高野さん

▲力強い引き込みでメ
ダイが浮上
▶ムツは一人平均7尾
前後の釣況
▼こまめに誘って食わ
せた1尾

▲40センチ近いムツも交じってきた



▲小型のムツは
甘辛の煮付けで
▲早朝釣れるム
ツは良型が多い



▲オモリは150号。ピギナーでもさ
ばきやすい3本バリ仕掛けも販売
▼底から1メートル上げて、ゆっくり
大きく誘いを入れる

▶枝スは7号60
センチとやや長
めのほうが食い
がいい
▲鋭いムツの歯
に厳重注意
▼龍神様と弁財
天がまつられた
江ノ島を拜みながら帰港



▲キンメやアカムツが混在する場所もある
▶常連の田口さんはムツ10尾とキンメを
釣り上げた

エサバ리를並べ置く 便利アイテム



▲マットや板に丸い磁石を5~6
個貼る。材質により両面テープか
接着剤を使用
▶「超強力」と
記された100
円ショップの
マグネットが
おすすめ



▲オモリを軽く前方に放れば投入完了

オモリ150号のライトな胴つき仕掛け
で、ムツ、キンメ、アカムツなどのお
いしい根魚を狙っちゃおう！ 初心者
も大歓迎の手軽なコンセプトで人気を
集めているのが、相模湾腰越港・秋田
屋のLTD中深場五目乗合だ。
年末あたりからとくに上向いている
のが25~40センチのおいしいムツ。腰
越三戸浜沖に点在する水深200~300メ
ートルのポイントを転々と攻めトツプ
10~20尾の良日も散見される。
「これ以上深い場所はやりませんから、
PE4~5号を35~40メートル巻いた
電動リールで楽しんでください。竿は
オモリ150号が背負える汎用ロッドやビ
シアジアなどで大丈夫。比較的のん
びりした釣りなので気楽に遊べますよ」
とは斎藤太俊船長。
釣り方も簡単。サバの切り身を付け
たハリ数5~7本の仕掛けを下ろし、
海底の起伏に合わせて底上1メートル
のタナをキープ。そして時どき、ゆっ
くりと上下に誘いを入れてみよう。
(詳細は56ページ参照)

相模湾腰越港出船 おいしいムツの食い活発 入門者も気楽に遊べる 相模湾のLTD中深場五目

撮影◎本誌編集部



▲朝5時30分までに船着き場集合

★最初のポイントは腰越沖の水深
200~230メートル。日の出直後
から1時間が一番の狙い目だ